第二百卅八號（一）　（木曜日）　明治四十二年十月十四日　日曜日及祭日の翌日休刊　（日刊）　（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●逍遙の印象

漢江渡船場　　蝶子

十月十日の日曜

宵の模樣では雨だらうと想はれたのが今朝起きて見れば蒼穹には雲といふ雲は莫い、一天拭ふた如で晴れ〳〵として氣持が何とも謂ねぬ、自分は朝まだき六時といふのに起床して洗面を了ねてから直ぐ散歩に出かけた龍山鐵道官舍内を通り拔けてゆくりなくも漢江の長堤に來た、微風がそよ〳〵と吹いてゐる、秋の散策は澄み渡つた朝の空氣を胸間深く吸ひ込みての逍遙に限るのだ原始時代に見る遊牧の民が住んで居る樣な韓人部落の溫突から煙が朦々として昇つてゐるのは朝餐の前驅であらう、丈餘の高粱は穣々たる黑い可愛らしい穗が附いて支ゆる幹重たげに俯向き氣味である、凹みたる草の葉には白玉の樣な露が一杯蓄つてゆら〳〵として溺れなんとして僅かに支ねてゐる、唐聖人の所謂行くものは夫れ斯の如く晝夜を別たざる水は緩く豐かに……流れてゐるが流れてゐないか明らぬ位に流動してゐる。

秋の形容詞として陳腐に屬する天高くして馬肥ねたり矣とは豈戰場の辭のみならんやだ、自分は戰場は矢張誰れが手枕に亂れけむ蓬が下にかゝる黑髮とか無慘やな兜の下に鳴く蟋蟀とか徹頭徹尾詩的に考ねた方が趣味があつていゝ、が秋は何處までも質素で野邊の千草は其生命とせる綠葉を落し樹木は赤裸々に幹枝のみを顯はして陽春の如く百花爛熳の虛榮なく、深綠森々たるの虛飾を粧ふはないところに秋の眞價……四季中逍遙のシーズンとして歡迎せらるゝ所以である。

漢江の鐵橋の少し上流に渡船場がある、自分はこの渡場が何と謂ふか名は知らぬが土人の話に依れば南韓の住民が輦轂の下に抵るのにはこの渡場の渡守の手を煩はす者が尠くないといふのは事實だそうだ。

世話女房らしい韓婦人が例の砧布を枯芝の上に置ゐて洗濯しながら謡を唄つてゐるのが水砧の音に和して面白い。

今しがた鷺梁津の發船場から道具箱を肩にしたる支那石工に地方の豪族然たる齡古稀に近き韓人、邦人勞働者らしいのが二三人と三十近い日本婦人で田舍藝妓見た樣なのが龍山街道通りの岸に一本の古き柳の枝が垂れた形ばかりの石の堤防に船と共に着いた、過渡時代に於ける植民地の現象としては敢て奇觀と云ふ程のとはあるまいが韓國三大河の一たる漢江の大河に葉舟を浮べ掉したる渡守は虎髯蓬々たる白衣帶冠の而かも威儀堂々として邊を沸び船中には事大國民亡國の民、新進勃興國の田舍藝妓の珍一行には誰れでも或一種のインスピレーションを與へて其面黑き對照に言ひ知れぬ興味の湧くのを禁せぬであらう。

噫……朝には白雲幽かに鷄籠山の山顚を罩め夕には雨風徐ろに朝鮮海を舐め冬は大白山の蜂巒として白雪を見、春は南韓の曠野綠深く洛東、漢江、臨津口の大河滔々として太古の餘韻を忍ばしむるもの是れ扶餘民族の生ひ立ちの搖籃に非ずや。

斯の如く自然の崇高に育まれたる汝遊惰の牧民……今や汝は世界の文明に浴せざる永き眠から覺めねばならぬ義務がありはせまい歟、自分は此時ふと古きメモリーから南鮮の民謠を思ひ出した。

「山羊は遲々として野邊をたどり、いゝいゝ、歸牛はいゝいゝ勞に疲れて森を出づる天地の暮に、優しいゝいゝさの眼は一人大河の岸に沒世を泣き游ぶかす」

韓國民の内部生活は一言能くこの民謠に髣髴たりだ、若夫れ其平和的生活に臻つてはより以上である。

既に斯の如き魁麗高雅なる自然に親しみて生存し來り、斯の如き幽婉悲愁の天地に思ひを寄する愛すべき汝韓民はうれ自身に於て永き眠から覺むる義務あるを自覺せねばならぬ、天帝の汝をして文明の恩典に浴せしむべく飛躍の曙光を惹ふるは少くとも今世紀以後韓國文明史を飾る第一頁ではあるまい耶あゝ。

●各地米作の豫想

各地農工銀行本支店又は出張所より度支部理財局に報告したる最近の米作預想調査を聞くに左の如し

▲京畿道　昨年以上の作柄なり

▲忠清北道　概平年の八分なるも忠州清州地方にありては平作以下なるべく慘狀を極む

▲忠清南道　（公州）昨年に比し幾分の増收を見るならん（太田）昨年に比し一割五分平年に比し一割内外減收の見込（鳥致院）昨年に比し二三割增收の見込（江景）平年作と大差無かるべし（万頃）今後雨澤如何に依りて七八分以上の成蹟を見るならん（全州）平年以上なるべきか（益山）七分作見當（臨陂）平年以上二分の增收（沃溝）同三分の增收（金堤）概昨年に比し豐作なるが如し

▲全羅北道　（金灘）概昨年に比し豐作なるが如し（古阜）同（井邑）同（泰仁）同（扶安）同（鎭山）生育强壯にして豐作なるが如し（龍安）同、咸悅）同

▲全羅南道　（長城）七分以上の收穫ある見込（潭陽）發育極めて良好（玉果）五六分の收穫（谷城）四分收穫の見込（求禮）收穫は八分位（靈光）收穫は七分に止まるべし（光州）七分の收穫（昌平）五六分の收穫（咸平）八分の收穫（羅州）平均五分作（南平）四分の見込、綾州、七分の見込（和順）七分の見込（同福）八分の收穫有るべし（務安）八分の作柄（靈岩）收穫は四分位（海南）六分位（康津）八分位（寶城）六分位（順天）作柄は良好（光陽）同（智島）五六分の作柄（珍島）十分の作柄（莞島）同（興陽）三分作（麗水）作柄良好（濟州島）否は極めて少なきも頗る豐作

▲江原道　（春川）平年作

▲慶尚北道　（大邱附近）昨年以上の收穫（慶山附近）平均六分方增收（倭舘）同（漆谷）同（星州）平年作七割位の收穫（仁同）同（善山）同（安東）水害の爲め平年作の三割乃至五割以上の減收ならん（義城）同（高靈）同（尙州）平年に比し二割五分の減收（咸昌）三割減收（聞慶）同上一割減收（軍威）同四割減收

▲慶尚南道　（馬山）平年以上なり（晋州）平年作に比し一割餘の增收（草溪）前年に比し二割位增收

▲黃海道　（海州）平年作より一割の增收

▲平安南道　（平壤）八分の增收（鎭南浦）平年作

▲平安北道　（寧邊）七分作（博川）二割五分減收の見込

▲咸鏡南道　（元山）發育の不良回復…豐作の見込

▲咸鏡北道　（清津）浸水のため平年作以下

鎭西八郎

第七席　伯山改　神田松鯉口演

此時須藤重季は主の袖を引いて

須「畏れながら申上げ候、某、昨夜夢見惡しく、覺めて後も何とやらん胸騷ぎして心持穩かならず、願くは今日の山獵を止めて頂きたいものでございます」と諫めますれば爲朝は打笑つて「夢は五臟の勞とか云へり、斯かる事は婦人女子の申すことである、汝安心して留守を致し居れ」と申されました、重季は「畏れながら古人は事に臨んで懼れよと申し候、然し是非御出あるならば己む事を得ず某も召連れ給へ」と願ひました、爲「イや汝參りたくば參るが宜しい、我れ何とて汝の來るを拒まうぞ」と申されて重季も大に悅び、是れより朝早くしてまだ暗きゆゑ松火をば振照らして主の伴をなし、木綿山の麓なる紀平治の家へ立寄られました、此時妻の八代立出で、八「是れは〳〵能う御出で下さりました、先づ御湯など召上りませして……」と湯を進め、八「夫紀平治は今日はまだ夜の明けませぬうちより山へ參りましてございます、何れ歸りますれば追つつけ後より參るやう致させまする」爲「アヽ左樣でありけるか、然らば是れより急いで參つたなら、山中にて追付くこともあらう、重季急げ」と主從其處を立出で足に任せて山深く分け入りましたが、まだ夜が明けませんから先暗くして紀平治の姿は見へません、餘りに駈けて山へ上りましたので、主從勞れたるゆゑに古るびたる楠の木の下へ立寄り、木の株に腰を掛けて夜の明けるのを待つて居りました、所が頻りに眠氣が催すので、爲朝も重季もコクリ〳〵と假睡りして居られたが、遂には草の上へ横になつてグウ〳〵と高鼾で心地好く熟睡された、此時如何しけん山雄と名付けられたる彼の狼、今日も主と共に山に來ましたが頻りに高く吼へて止ます、然し爲朝、重季主從は眠が覺めずして相變らずの高鼾、山雄今は堪らず、突如一聲高く吼ねると見る間に、爲朝の行縢の端を啣へて引きましたから、爲朝重季も驚き覺めて四方を見返つたが、別段目に遮るものがない、ハテ何であらうか、コハ山雄が戯れであらうと思召して、又眠らんとなすれば、山雄は又も烈しく吼へて嚙み付かんとする有樣、爲朝信となり一汝、何故に我が安眠を妨げんとするぞ、畜生の淺ましさ、虎狼は狎れたりと雖も養ひ難し、汝我が睡れる間に我れを喰はんとするか、憎くき奴、さもあらば目に物見せて呉れん」と刀の柄を握つて暫時睨み詰めた、重季も心を緩めずスワと云はば刺留めんと鯉口寛ろげて待居たるが、山雄は其氣色には怕れず、尙は二聲、三聲、吼ねながら忽ち爲朝目掛けて走り寄らんとなしましたゆゑ、重季は躍り掛かつて丁と首を切る、哀むべし狼の首は飛れたるよと見る間にツヽヽヽヽと楠の梢を目掛けて閃き登るよと見へけるが、鮮血サツと迸ばしりて、大なる響きと共に大地へドッと計りに落ちたものがある爲朝主從は驚き怪み、何物ならんと夜明けの星の光りに眼を定めてこれを見れば、コハソモ如何に一ハ如何に、太さ楠の幹にも劣らぬ大蟒蛇、長さ幾丈あるか量り難き程のもの地上を蠢いて、苦しんで居る爲朝大に驚き、重季と共に刀を拔いて所嫌はず刺通して之れを殺しましたが、爲朝は大に山雄の死を悲しみまして重季に向はれ「ヤヨ重季、畜生とは言ひながら誠に感ずべき奴である、此の蟒蛇が梢の上より首を垂れて我れを呑まんとしたればこそ、山雄が頻々吼ねかゝり我が裳を引いて知らせたるに、夫れとは知らず我に寇なせる事とのみ思ひしは誠に愚の至りであつた、彼れ今汝の一刀に死しつるも其の一念は頭に止まりて我れを救ひ呉れしこそ殊勝の心、嗚呼哀れなことを致したり」と生れついて涙一滴溢されたことのない豪傑も、此時許りは切りに落涙される、禽獸と雖も一旦受けた恩は知つて居るものであります、此狼の如き感服の至りであります

京城新報

小作人組合

韓國の農業を改善進歩せしむるに就ては施設すべき事頗多し、當局者に於ても夫々之が改善に努められつゝあれば、漸次其效果は現はれ來るべし、單に農業の改善進歩と云ふも、幾多の方面より之が施設を爲さざる可らず、例へば作業の改良乃ち種子の撰擇耕耘の精勵、害虫驅除、灌漑の便、肥料の關係等直接作業に關するものと、地主と小作人の關係及徵税法道修の路築等間接の獎勵に係はるものとあり、而して韓國現在の狀態を見れば何れを先きにし何れを後にすべきものなく、何れも施設の急を要せざるはなし當局者に於ては既に着々之を實行しつゝあり、殊に直接作業に關する事に就ては遺憾なく改善を企圖せられつゝあるものゝ如し、而して韓國農業の發展に最も至大の關係ある地主と小作人との關係に至りては未だ適當の施設を見ざるを憾とし(たり)き、然るに今回財務監督局管下に試驗の意味を以て小作人組合なるものを設立せらるる事になれり、之れ最も機宜に適したる施設にして、漸次之を擴充して全國小作人の便宜を計るに至らば、韓國農業の進歩に著しき影響を及ぼさんか。

抑も韓國に於ける地主と小作人との關係は甚だ不完全にして頗る鮮明を缺ぐ、數百年來の習慣にて不調和ながらも漸く兩者の關係を維持し來れるも、其關係の不完全なるが爲に農作上に惡影響を來たしたるは爭ふ可らざる事實也、而も社會の進歩するに從びて兩者の關係は現在の儘到底之を持續する能はざるに至れり、古來より地主なるものは多く兩班にして其小作人を見ること土芥の如く、壓抑冷酷至らざるなし、之を以て小作人も亦之に對する策として頗る陰險なる手段を講ずるに至れり、世人は單に小作人の陰險なる手段のみを見て、韓國小作人の狡猾なるを罵ると雖、彼等が狡猾なる策を弄するに至りしは畢竟地主の專横壓抑の甚しかりしが爲ならずんばあらず、然るに地主等は近時小作人等の專横を憤りて監理權勵行を唱ふるに至る、今日地主等が斯かる禍に逢ふも畢竟自己の蒔きたるものにして之に苦むは當然也、然れどもこは只一部に於ける現象のみ、全國を通じて之を見れば今尚は小作人は從來地主の專横に苦しみつゝあり、小作人は從來地主の專横甚しき爲に自暴自棄に陷入り、爲に其作業に勵精せず年々作地を瘠土として顧みず、之が爲に韓國の農業は非常に荒頽するに至れるなり是を以て地主と小作人との關係を改善することは韓國の農業に取りては最も必要の事なりとす、若し夫れ此關係を改善せざるに於ては農事の改善を望む能はざると云ふも過言にあらざるべし。

當局者既に茲に見る所ありて小作人組合の設立を企圖せられたるは最も賀すべき事なりとす、希くは之を擴充して小作人をして心より農事に精勵するに至らしめん事を望む也。

東京電報

▲伊藤公と露藏相　伊藤公爵は本月末哈爾賓にたいて露國大藏大臣及び駐清露國公使コルスルートウイッチ氏と會見すべし(十三日發)

▲取引立合の開始　期米解合ひ全部調印濟みとなりたれば本日より立合を開始することゝなれり(同上)

▲間島領事の任命　總領事永瀧久吉氏間島に近藤源吉氏東道溝に吉岡査一氏局子街在勤を命せられ本日發表す

▲韓銀と創立總會　韓國銀行創立總會は愈二十九日開會の筈なり

▲韓電買收後整理　日韓瓦斯の韓美電氣買收後の整理の爲め東主事本日渡韓す

▲日糖債權者會議　日糖整理に關する最後の債權者會議は漸次遷延しつゝありしが準備漸く成り來る十四日再び東京に於て開催する事に決定せり(同上)

▲地租輕減案提出　地租輕減問題漸く盛ならんとする今日に於て政友會の態度は頗る曖昧なるが之に就て同會前總務の一人は曰く大政黨の態度としては怪しむに足らず然れども地租輕減案は結局來期議會に提出さるべしと(同上)

▲本月上旬の貿易　本月上旬貿易額は千二百九十萬四千圓の入超を示せり

▲關稅問題委員會　研究會は來月早々關稅問題に關する委員會を開くべし

▲相續稅歩合減少　政府は明年度財政計畫中相續稅全部を廢し得ざるも幾分か課稅標準及歩合を減ずる方針なりと

▲慶應選手の大敗　慶應大學とウイスコンシン大學と最終の野球戰は昨日慶應義塾大學の運動場に於て開催したるが八對零にて遂に慶應の大敗に歸せり此日參觀者無慮三萬人に達せり(同上)

▲臺灣の六三問題　臺灣總督府法律第六十三號繼續に關しては法制局及び內閣等に於て大議論ありしが總督府にては既に獲得したる立法權を議會に返附するは官憲の一部を割くに齊しければ之れを存續する方針にて來期議會には該存續案を提出する方針なりと(同上)

▲藥品類と審査官　近來藥品及び醫療器械の特許出願者多きを以て農商務省にては專門審査官を置く筈なり(同上)

▲衞生會議の延期　來年三月より巴里に開會せらるゝ筈なりし英國學校衞生會議は同年八月に延期せられたり(同上)

▲英國大使の謁見　英國大使マクドナルド氏は賜暇歸國に付き十四日陛下に謁見仰せ付けらるべし(同上)

▲鐵道公債逆輸說　外人の手に渡れる鐵道公債約七千萬圓に上れるが市價騰貴の爲め近來逆輸入を見るに至れりと云ふものあるも這は英蘭銀行利子引下げより來れる浮說に過ぎずと(同上)

伯林電報

▲伊皇后へ御贈勳　駐伊林大使は日本皇帝陛下よりの勳章を伊太利皇后陛下に贈呈したるが伊國新聞紙は一般に謝辭を呈したり(十二日東京經由)

▲海難救助の決議　目下伯耳義ブラッセルに於て開會中なる海上法會議にては戰時の海難救助を義務なりと決議せり

▲獨銀の利率引上　獨逸帝國銀行は其利率を五分に引上げたり(同上)

哈爾賓電報

▲藤公と來遊露人　伊藤公來遊と同時に露國藏相コロチロフ駐清露國公使ココストウエス氏等も來るを以て其會見は何等かの問題を惹起すべしと露人等は風評しあへり(十二日夜着)

紐育電報

▲米國公使の免職　過日米國政府はクレイン氏を淸國公使に新任したるが同氏は赴任の途中對淸政策を論議したる之れが爲め日米の國交上尠からず物議を惹起し遂に大統領タフト氏は氏の上淸せざるに先だち桑港より召喚を命じ其後調査中の處今回斷然其職を免ぜり(十三日)

地方電報

▲海上討伐隊の奇禍　海南守備隊吉原步兵大尉以下十五名は莞島附近の賊徒討伐中十一日午前七時四十分チン灣(電文不明)に於て石油發動機警備船第九號轉覆し吉原大尉は微傷を負ひ兵卒三名は溺死したり(十二日榮山浦發)

雜報

●藤公旅程と隨員　伊藤公爵は十四日大磯出發十六日馬關解纜の鐵嶺丸にて大連に向ふ由にて旅行は往復約一ヶ月の豫定なるが哈爾賓行の上或は浦鹽に廻ることゝなるべく其の確定せし隨員は左の如し
室田貴族院議員、古谷秘書官、森宮相秘書官、小山宮內府御用掛、鄭外務書記官(此外陸海軍より參謀官各一名隨行すと)

●四會議所の發電　京城、仁川、木浦、群山商業會議所より來れる鐵道急設請願運動委員は十三日午前八時我內閣總理大臣、大藏大臣及遞信大臣に宛て左の電報を發したり
京元湖南兩鐵道は韓國經營上多大の急務たるを認め我々居留民は謹て廟議御決定を請願す

●銀行政策の一變　韓政府にては地方農民に對する金融機關として現に數個の農工銀行を設立し以て農事經濟の緩和と其改良發達を期待せしが爾來一般の狀態は此種の銀行のみを以て甘んずべからず廣く商業資金の供給を必要とするに到れり茲に於て去る十一日より開催せる全道の財務監督局長會議に對し重要なる諮問事項として現在の農工銀行を分離し純然たる不動產抵當銀行と商業銀行とに分設するの可否及方法を提出せし次第なるが右必要は既に中央當局者に於て調査を遂げ充分認定せる事なれば地方當局者の意見に拘はらず斷行さるるに到る可く而して今回の諮問は單に形式的に付議せるのみに止まり併せて實施上の參考に資せん爲めなりと云ふ

●仁川民會の決議事項　仁川居留民會は一昨十二日午後八時より民役所樓上に於て開會せられしが當日の出席議員は市川、稻田、木塚、八田、加藤、伊東、青木、桑野、平山の九氏にして奧田議長は旅行の爲め不在中なるを以て青木氏假議長席に就き開議す即ち議事日程第一の會計檢査委員の四十一年度民團會計檢査報告及び同二の四十一年度民團各會計決算報告同三の水道鐵管敷設用地返納の件は異議なく承認を經次で民團吏員定數改正の件並びに之れに伴ふ四十二年度民團歲出更正豫算並びに同仁川病院歲入出更正豫算の件、大神宮神職給與の件は一同異議なく可決確定し尚ほ仁川民團の管理せる海岸斗量場使用料改正の件は穀物協會より請願ありしに依り其料金を輕減せんとするものなるが理事者の提案杜撰の嫌あるを以て一先づ該案は撤回する事に決し仁川第二公園設計費支出の件は宮田前民長の殘務に拘るものなるが兎角議論ありたる末條件付の議決を爲し引續き四十二年度豫算內の支出に充つる爲め五千圓を一時借入の件及び第二小學校構內不用韓人家屋賣却の件並びに敷島遊廓內高砂樓抱娼妓稅を現行の四圓より一圓を減額するの件は滿場異議なく可決して茲に議案全部を終結し協議會に移りしは午後十一時なりき

●第一回司法試驗問題　法官養生所に於ては第一回司法試驗を擧行し十三日より十六日迄は筆記試驗にして廿日は口述試驗なるが受驗者二十三名あり初日の問題左の如し
△刑法 (一)故意と過失との區別を詳記せよ(二)被害者の承諾が犯罪の成立に及ばす效果如何
△刑事訴訟法 (一)公訴發生の原因及公訴提起の効力如何(二)現行犯非現行犯を區別する必要如何

●京城會議所臨時總會　既報の如く十二日夜京城商業會議所に於て仁川より荻谷書記長、龍山大久保民長、大村兼古、渡邊三委員京城中村會頭、曾我副會頭山口書記長代理等會合南線併設に付て運動すべく決議したるが更に京城商業會議所は十三日午後臨時總會を開き協議を爲したり

●併說と統監府の回答　統監府より十二日三南京元線起工に關する重要電報を本國政府に向て發送したる由にて十三日の閣議には議題に上る筈なれば其結果は直ちに統監に電報せらるべきを以て從て同府の回答は明かなるに至るべしと

●警務費豫算の決定期　警務局來年度の豫算は裁判所の增設と同時に百二十乃至其れ以上の警察署を設置するの經費並に警部及巡查增員等に依り約二百六十七萬圓なるが別項記載の司法警察費確定の後に於て編成する筈なりと云ふ

●法權實施と我警察費　司法權實施と同時に我政府より支出すべき司法警察費は約三十萬圓にして來年度に於て擴張さるる韓國警務費の約十分の一強なり

●趙重應氏以下の出席　來る十七日擧行の釜山輸出牛檢疫所開所式參列の爲め農商工部大臣趙重應原島畜產課長川上書記官の諸氏は十六日發出張する由

●度量衡販賣所の認可　度量衡法に基き昨十三日の官報を以て改正度量衡販賣人を指定告示したるが京城を始め各道に涉り其人員總て七十六名なりと

●豫算外國庫負擔契約　平壤水道事業費に屬する材料費六千三百十四圓は隆熙四年度國庫負擔として本年度に於て契約を締結する事を得るの件公布せり

●民團決算審査の終了　京城居留民團四十一年度決算は既に委員會の審査を了はりたるを以て來る十五日民會を召集し之れが承認を求むる筈なりと云ふ

●統監邸大臣會議　李總理大臣以下各部大臣(任度相、李學相は缺席)及參與官は本日午前十時より統監邸に參集し曾禰統監及石塚長官列席の上定例會議を開けり議題は統監府間島派出所撤退に關する件及司法權實施に關する問題等にして正午散會す

●追加豫算の裁可　平壤水道事業費二千三百四十圓追加豫算案裁可せられたり

●蒙古牛と韓國牛　近頃內地新聞の傳ふる處によれば蒙古牛數十頭を日本へ輸出せしものありて其成蹟好望なるに於ては更に續輸を爲すべき計畫なりとの事なるが當局者の談によれば滿韓及び西比利亞より生牛を輸入するは日本農商務省令の禁止せる處なれば右蒙古牛は屠殺用として輸出を試みたるものなる可し然れども蒙古牛は其味頗る劣等にして到底永く需要を持續すべからず若し又農商務省規定の檢疫所を設け生牛の輸出を計るとするも元來飼養の方法及耕作の習慣を異にせる事甚しき蒙古牛は韓牛の敵として恐るに足らず殊に韓牛は其体格の強壯なる又性質の溫順なる點に於て遙かに優等なれば前途倍々好望なりと云ふ

●本月上旬の仁川貿易　仁川港本月上旬の外國貿易總額は二十八万八千百〇七圓にして之れを前年同期に比較する時は二十萬一千〇十二圓の減退を示せり今輸出入を分類するに輸出總額は三万八千〇五十三圓にして其內の重要品は牛皮の二萬二千二百十八圓之れに次ぐは大豆及小豆の八千〇三十九圓なり尚輸入總額は三十五萬〇五十四圓にして其內の重要品は生金巾及シーチングの二萬四千五百二十一圓煙草の二萬二千二百五十七圓石炭の二萬千九百四十二圓晒金巾の一萬一千二百五十五圓等也

●輸出生牛檢疫の成績　過般開設したる釜山輸出牛檢疫所は既報の如く其成蹟良好にして當業者の利便亦尠からざるが今去月中に於ける成績を聞くに規定の檢疫を施行し日本へ輸出せし生牛は百五十二頭の多きに達し外に九月二十二日より三十日に到る期間に於て收容し本月に入り檢疫完了解放す可きもの百七十五頭ある由なれば合計三百二十七頭收容せる譯なり然れば其成績は豫期以上の効果なりと云ふ

●商品陳列館新築計畫　農商工部商品陳列館は其規模狹隘なる爲め汎く工藝品を陳列する能はざるを遺憾とし鐘路所在の元韓人商業會議所建物を借り上げ充用せんと交涉中なりしが都合に依り見合せ別に一館を新築すべく目下設計中なり

●韓國產金の狀況(第一銀行分析所調査)　一銀分析所に於ける黃金の調査は三十三年より始めたるが三十九年十月鑛業令發布以來密採を防遏したると暴徒の蜂起とに依り昨年前半期迄は產金額減退の姿なりしが昨年中にては二百六十四貫六百八十三匁此價格九十萬七千七百七十圓にて從前の百五六十萬圓內外の產額に比し大に減少せり一昨四十年にて七十六万八千圓卅九年には百四十四萬五千圓なりしが之は前半期に多かりし故にして後半よりは前述の二原因に依り減少せり三十八年は百七十五万二千五百八十圓にて以上は京城支店丈の買上高なるが此他元山平壤の二支店にても買入れ此の三支店の平均買入額は二百廿万圓內外なり今後は韓人の採取者も增し日本人も堅實なる經營者增加しつゝあれば復舊は素より大に產額を增すべく雲山金鑛は昨年迄の平均二百廿萬圓位なり大阪造幣局にて韓國產金の使用高は四百五十萬圓なり本國輸送の際は一塊を四貫目とす韓金は日本に比し銅少く雜分は主に銀なるが七十九パーセント中二十位の銀を含む故に金鑛は日本に比し優良なり一銀の買入相場は一匁四圓九十五錢(純金)にて全國のスタンダードとなり居れり造幣局へは五圓にて渡し其額一匁五錢なるも其間稅關、運賃、保險等を要し益金は少し一昨年五百萬圓の韓國貨幣を大阪造幣局にて製造を引受けたり

●新井編輯長出發　過般入京滯在中なりし時事新報總編輯長新井由三郎氏は昨十三日夜南大門發列車にて歸朝の途に就けり

●澁川椋十氏出發　入京中なりし東京朝日記者澁川椋十氏は十四日下仁し同地の視察を終へて水原に至り直ちに歸京の筈

●峰岸社長の歸社　久敷く東上中なりし峯岸本社長は昨十三日夜歸社したり

●山本課長の出張　農商工部農務課長山本小源太氏は往復十日間の豫定を以て近日出發全南光州地方へ出張の筈なりと云ふ

●横山助役の昇給　仁川民團助役横山謙氏は從來年俸千八百圓を給與され居りしが今回二千百六十圓に昇給したりと云へり

●故申海永の昇敍　日本へ渡航の途次東京にて死去せる申海永は從二品に昇敍さる

●宮澤員也氏入京　十二日來京東海旅館

●吉川岩吉氏入京　十二日來京天眞樓へ

近事片々

▲水道　賣却說再燃し來る會社側を代表せる某氏東京に在て今や交涉中也と傳へらる
▲日本　興業銀行は該資金の全部を引受けんと意嚮ありと果して事實ならば甚だ可し
▲人命　に關する水道權を公共心なきものゝ手に握らるゝに於ては何國でも甚だ迷惑する
▲今秋　虎病流行に於て苦き經驗を嘗めたり之を邦人の手に收むるを可とす只價格耳
▲內部　は第六號を以て水源地保護令を發し之に始めて京龍人は安心して水を飲まれ
▲纛島　より龍山鐵橋に至る漢江流域に撈漂衣其他洗滌を爲し汚物の投棄を禁せり
▲更に　漢城內の河川淸潔法を勵行せられたり市街を橫斷する川に汚物の堆積は閉口
▲出來　得べくんば漢口の水を引きて常に流水せしむるに至らば漢城の價値は上らむ
▲鴨川　の如き淸き流れに非ざるも流水に沿々たらば美觀と衞生を併せ得るならむ
▲漢城　府民會の事業として之を實行しては如何浮華的費用を節すれば早晚出來むか
▲伊藤　公の滿洲視察は却て滿洲經營の綿少を見るに至らむと憂ふる者あり是も一理屈
▲公が　平生の行爲よりすれば其對外軟とすれば或はと思はるゝも敢て無理ならず
▲然れ　ども公も亦帝國主義の人決して大陸策を忘るゝ者にあらじ先づ安心して可也
▲公爵　今回の視察は列國の環視する所となる觀光的漫遊と辨するも世は承知をせず
▲英國　元帥キ將軍は日本に着すると直ちに大隈伯を訪はんと云ふ伯は今や日本の名物
▲兩雄　相會して談論の花は如何に咲かむ伯の舌鋒は每度外國人を感嘆せしむる由
▲露國　に行けば何人も先づト伯を訪ひ英國は查氏米國はル氏日本は隈伯と相場極る
▲來月　一日より宮內府內新設の動物園及植物園を開放して公衆に見せると良き事也
▲兩園　の開放によりて在留邦人の小供も動物及植物の知識を得るに至らん喜ぶべし
▲東海　道江尻附近去る八日大海嘯ありと今年は何だか祖國は天災の多き年である

●地方行政の監督　[illegible]よし書記官又は事務官を出張せしめ以て地方行政事務監督に要する經費を計上し以て[illegible]國に於て熱心に勵行しつゝあり即ち視察[illegible]費實施等に依り政務頗る復雜を加へ從って[illegible]

●問屋組合と署長訓示　[illegible]四十餘名を警察署に召集して從來警察署が[illegible]の屆書のみにて事足れり然れば世上に嫉せ[illegible]ならずや[illegible]渉る訓示を爲したりと[illegible]やを說明すると同時に勞働者の供給を目的[illegible]賃錢じてなし即ち正直なる勞働者を低廉な[illegible]

●三南地方暴徒の眞相　一時猖獗を極めたりし三南地方の暴徒も我[illegible]如く多少の政治臭を帶びたるものは殆んど無く全く生活難より來れるものなれば彈丸よりも一片の麵麭の方遙に利目多く從つて

●人蔘見物記(二) 放浪生

久しぶりにて高麗の舊都に遊ぶの機會を得た、幸にも天氣晴朗一天拭ふが如くである、氣候は好し外出には誂へ向である、朝飯を喫するや否や南大門停車場に驅けつけた、待合室には同業の面々既にヅラリと居流れたり、余がベンチに腰を下ろすと共にツマトーゼの廣告然たる低身の肥大漢入來る、之ぞ名にしをふ陸軍中將にして東拓總裁たる宇佐川男爵である、續て貧乏なる痩爺は入り來る、之は言はでも知るき前の內務次官吉原東拓副總裁である、眞面目なる石塚長官代理、色の黑い中に何となく活氣ある佐竹秘書官來る、暫らくして洋刀鏗鏘として徽章を燦りつゝ入來れるは、東道の御主司税局長鈴木穆君であつた、待合室は入方に於て談話は交換せられ頗る賑かになつて來た、其中に發車時間たる九時十分は迫つて來た、乘車すべく告知らせられた、惰惶として乘車し、余は新非時事子の前に陣取つた、發車するや車中は談笑湧くが如く、其中に誰の發起にや列車通信するもの發刊せられた、此等の事に就ては同業者により既に委わしく書かれて居るを以て余は車中の出來事は省くことにする、

十一時十八分開城驛に着して乘に尾して蔘政廳に行つた、十年以前余が此地に來りしときとは非常に變遷して居るのに覺悟の前とは云ひながら聊か吃驚した、四圍の山光風色は依稀として異らざるも、物質的の變化の著しいのには大に感激せざるを得なかつた、十年前開城に入りしときには何となく羅馬の舊都に入りしが如き感がして關羽廟に詣でたときにはシエピトルの廟に詣でゝ羅馬衰亡史を書いたキツボンになつた樣な氣がした、古都蕭々として月影寒しとの感を禁ずることが出來なかつた、同行の友人と相携へて滿月臺に上りて月を賞したる瞬間は全く自分も詩化して、羅馬や巴比倫や埃及の衰亡に聯想して全く韓國の前途に對して無限の感慨を催した、然るに今回は更に此感が浮ばぬ、在留邦人の増加と共に其居留地も何となく永久的設備の觀がある、在留邦人の増加によりて高麗の舊都は將來舊に倍するの盛時を見るであらう杯との感が起つた、要するに開城は在留邦人の増加によりて活氣を帶びて來た、唯茲に注目すべきは西洋人の經營に係はる耶蘇教學校の盛なることである、從て開城に於ては基督教の勢力は非常に樹立せられて居る、美以派の經營に係はる學校の如きは頗る立派である、其宏壯なる校舍は開城の偉觀である、是が開城の韓人に如何なる感化を與へつゝあるかは看過すべからざる問題であらうと思ふ、話頭端なく他事に亘つて仕舞つた、こゝらで閑話休題として是より主題たる人蔘見物の事を專ら書いて見よう、

●龍山 新市街の夕景

日曜の退屈まぎれ京城古市町の温室を飛び出したのが十日の午後六時四十分、徒歩で十五間道路を市街地に這入た頃は最う各商家に燈火の光りが輝いて居つた、サテ是から眼にとまつた物、耳に入つた事を素ッ破拔いて試やうか、橋際の別府組人力車帳場では何やら爭論を爲て居た多分金錢上の事らしかつた、島本洋服裁縫店では今夕飯を了して六人の職工が一齊に仕事に取掛つた餘程忙がしさうである、池上雜貨店の店頭に店員らしいのが横笛を吹いて居たが巧いものだ、料理店鶴屋の風呂場と化粧部屋とは今や姐さん等の磨く……塗る……饒舌る……の眞最中、兎に角此の樓では妾が師團長だワ、アラ嘘よ此の靜子令孃が軍司令官よ、戲談言つちやア不好つてよ靜子姐さんなどは二等卒だワ……コラ當番だ當番ッ……百囀づりの姦ましさ、花家の前には學生風の青年が四人立て居て此の樓では女が一人足りないから什麽しやうかなどゝ相談して居た、丸六古物商では糶賣が始まつて居た、白縮緬の兵兒帶一本が一圓より二圓二十錢まで糶上げたが賣なかつた奧川陶器店の店頭では七八歳の少女が小さな狆を抱いて遊んで居たがホントに可愛らしかつた料理店笑月の女中が二人軒下で斯う謂ふ事を噺して居た、昨夜人力車で來た○○新聞の人は大層醉て居たが何處で飲で來たのかしらと、ハテ何誰の事で御座らうか、蕎麥屋の東京亭に天ぷら蕎麥四つの注文が何處からか來た、料理店朝徳では女學生風の美人が長火鉢を挾んで女將と差し向ひに成何にやら嬉しさうに噺して居た、聞けば此女はツイ先日東京から來たので女將の姪ださうな何んでも凄腕らしい、山崎寫眞館の前には頗るハイカラの別嬪が二人で表店の看板寫眞を觀て居たがアラ此の女は芳子さんに能く似て居りますよと談して居た。餘り好材料も無いから切上げて八時五分の汽車で京城へ歸つた(夕鳥投)

●虎疫全く鎭滅す

▲一名の發病者もなし

一時は一日に七八十名より百余名の患者を出だしさしもに猖獗を極めたる京城に於ける虎疫も防疫に衞生に其の當を得たるに加ふるに天候の寒冷に赴けるとに依りて今や全く終熄の域に向ひ再昨十一日の如き京城に三、纛島に二、一昨十二日に至りては京城に一、纛島に二の新患者を出したるに止まりしが更に一昨十二日午前六時より昨十三日同時に至る間に於ては一名の發病者をも出さゞりしとは誠に芽出度事と云ふべし

●問屋組合と署長訓示

仁川韓人勞働組合設置に關し仁川署長宮館警視は一昨十二日午後一時韓人の問屋業者[illegible]

●大久保大將は己の親族

▲與は泥醉の世迷言

仁川濱町一丁目の歌舞伎座前道路にて一昨日の午后十時頃洋服を着用せる年齡廿五六の屈強男が熱醉して横臥し口から出任せ惡口雜言を吐き散らし通行人の妨害を爲しつゝあるより折柄通り合せし警官は有無をも云はさず宮町派出所に連れ行きて保護を加へんとしたるに此奴は威猛高になりて罵るよう我輩は靜岡生れ當時萬石洞に居住せる建築所仁川出張所雇員の柴田久(廾七)と云ひ過ぐる三十七八年戰役に從軍したる功に依り功七級金鵄勳章を所持し居れる工兵曹長さんだぞ、さあ己を所分するなら勝手にしろ挨くの昔自分の命は投げ出したるものなれば斬るなり突くなり勝手にしろ然し大久保大將は己れの親類なればチョッ●●●●コン手紙を認むるまでカ●●●●マイツンよと傍若無人の罵言を大聲にて呻られしにはさしもの警官も苦笑を禁じ得ざりしが折よく同人の知己なる支那町居住の越川熊八郎と云ふが通り合せたれば同人に身柄を引渡したりと困つた軍人殿かな

●韓人窃盜の就縛

一昨十二日午後九時頃西部署金刑事は管內偵邏中太平洞に於て擧動不審の韓人二名佇めるを認め直ちに取押へ嚴重取調べたるに兩人は目下住所不定の自稱金正燁、朴秦吉と申立てたるが懷中を檢めしに身分不相應の銀側時計一個を所持なし其出所を問ひたるに竊取品なると判明し只今質屋に持行き金に換へんとする所なりと自白せしに依り兩人共本署に引致せしが倘は餘罪ある見込にて松田警部主任となり引續き取調中なりと

●怪しき男の拘引

原籍山口縣下の關生れ當時京城大和町二丁目番戶不詳岡村福松方同居左官職山本和吉(三五)は昨日午前四時本町三丁目通りを徘徊なし丸市吳服店前に停止し擧動如何にも不審なるに依り巡警中の竹村巡査南部署に引致目下訊問中

●奇特な衞生組員

仁川新町二丁目堀田伊助は先般同町內に虎疫患者發生せし際交通遮斷區域內の八戶に無償にて煮沸水を供給したりと近頃奇特のことゝ云ふべし

●酒價の代に拳固

仁川居住中村留造と云ふ四十男は同地新昌洞の酒商李尙奉方にて六十七錢五厘の飲食をなし酒價の代に拳固を振回して警官より大目玉を頂戴す

●出合頭に大喧嘩

十一日午前八時頃仁川敷島遊廓內日進樓前にて韓人金順甫と清人張福奉は出合頭に突當しとて喧嘩を初めたるを警官出張厚く說諭の上和解せしむ

●井門本店の新妓

壽町井門本店より昨日鶴香と名乘りて現はれたるは花のお江戶は淺草區千束町の生れで藤原ゆか(十七)と云ひまだ年齡は若いが頗る別嬪にて此間迄新橋花近江に小仲と名乘つて出て居たゞけあつて藝も甘し却々の掘出し物なりと

●小勝拍子の廢業

福岡縣平民當時京城新町遊廓皆春樓抱娼妓小勝事奧浦屋かつ(二三)は一昨日奇麗薩張り足を洗ひたるがそんによ其魔等に誤落膽筋もあるべし

●一昨夜の新町

遊廓の色餓鬼は總計八十九名にて消費高四百五十六圓九十八錢也

●大和亭の開業

京城大和町一丁目大和亭にては今回西洋料理を開業したるが東京きたへのコックを雇入れ原料を精撰して至極うまき料理を拵へて客を待つとのことなれば定めし食道樂連の喝采を博するならん

●仁川三面便り 骨野拔作

▲仁川の虎列拉も當局者が熱心を以て豫防消毒に努めたる功果現はれ全く病毒を撲滅するを得たるは當事者の功勞に歸せざるべからずとて防疫慰勞會を催ふさんと目論見居る人有之候が至極贊成の事と餘人は知らず拙作は愚考致候。

▲仁川小學校の運動會は愈々來る廿三日開催の由に聞及び候が同日は土曜日に相當すれば勞れた役人連其他一般の希望を容れ日曜日に繰延べられん事を主張するもの多々有之候が如何にや。

▲仁川には隨分名物男ダンハ、有之候先づ信夫理事官、宮本稅關長、和田觀測所長の三名が始終變裝してチョコ〜小料理屋に出沒しあられもなき浮名を流す事あるを筆頭に彼の有名なる青豆院禿頭居士が痛飲三斗の酒豪家として時に人をして舌を捲かしむる事有之候が此頃は民會其他重要なる問題の處理あれば久しく一滴の酒も口にせずと誇り居候焉ぞ知らん禁酒の日數は僅かに四日なりとはイヤハヤ開いた口が塞らず候

▲不正通關屋檢擧の餘波を被り仁川稅關吏輩は俄に品行を愼む樣になりし爲め昨今敷島遊廓さては花町通りの淫賣屋は頗に秋風落莫の觀を呈し居候。

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十月十四日 舊九月朔日 八白 先負 丁未 れさん

△一白 障害起り易し 創始改易の事凶 尙旅行轉住忌むべし

△二黑 音信により少しく煩悶憂鬱の事を聞くあり其外平凡の日とす

△三碧 不得要領若くは破壞に終る日なり新事及交渉事諸凶

△四綠 非運衰頽の日とす新事見合せたるべし負傷保健に留意すべし

△五黃 平穩の日なり婚姻集團結合等大に吉とす

△六白 快達の日なり收得收利あり子女の婚約養子の事談吉

△七赤 遠達の日とす萬進んで吉業務職務上悦び事あり

△八白 衰運厄日なり萬づ控へ目にすべし殊に紛爭衝突不和を愼しむ

△九紫 駈引武判訴訟等拔目なきよう留意すべし權謀術數に陥ゆる勿

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶

▲新町の或樓の菊培養は年一年盛んに成り行く本年なぞは各樓とも三四五百鉢位宛は仕立て居る相だが場所柄丈けに婦人子供を伴れて行くのに一寸二の足を踏まざるを得ぬは遺憾千萬だ(風流子)▲水道會社對知の交渉が東京に於て事實となつて現はれたとは眞實ですか(伺度生)▲有り相なことゝ思はれます(係)▲敢て中傷するのでは無い僕は實際の事を言ふのだが本町一丁目三巴酒店の集金係某は詐欺的詭辨を弄して掛金を取立つるツマリ顧客を誑して勘定を拂はせるのだ主人たる者大ひに注意せざれば折角賣り出した御得意が減るぞ(忠告生)▲不景氣だ〜と沈んで居ては益々不景氣だ自ら景氣を附けて大に不景氣を挽回すべしだ(畑酌玉)▲龍山新市街の料理店朝徳には今度東京から女學生上がりの頗るハイカラッた別嬪が來て居る(誕れ生)▲ひら君にお目にかゝりたいと久しくから思ふて居りますが何分御拜顏を得るの機會が無くて誠に殘念に思ふて居ります(ぎの字)▲ぎの字君にお答へ致します貴君と私とはお互ひに礙と知らずに居るがお目にかゝればア、君でしたか貴君でしたかと云ふ程の面識はあらうと思ひます兎に角折を見て私がお伺ひ致します貴子もお暇が御座いましたらお尋ね下さいまし(ひら)▲日曜には山遊びに限る(紅)

●天氣豫報(自十三日午後六時至十四日午後六時)

北西の風晴れ

十二日(華氏) 最高溫度 七二、三 最低溫度 三二、〇

各種洗濯石鹼專門製造販賣用途

陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹼製造所

諸紙
文具類
和洋帳簿

其他雨傘並ニ印入傘御注文ニ應ス
右精々安價販賣可仕候多少ニ不拘御用命仰付被下度候

京城南大門二丁目

美濃久紙店



原料直輸入廉價調製各種木形新着

弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粋を集め常に諸彥の御滿足を得實地御試用被下度候

●京龍間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳御送附可仕候

深ゴム靴　特價　六圓五十錢
アミ上靴　五圓五十錢
淺ゴム靴

東京北村支店
京城本町二丁目（郵便局前）　店主 磯部廣吉 謹告

獵期來れり

新着獵銃各種

洋家具

京城南大門通り

藤木商店

電話五百八十三番

冬物雜貨品揃

敷物類

仁川港本町一丁目

藤木利右衛門

電話四十番

蒸氣消毒牛乳

京城大和町一丁目

平山牧場

電話一三三

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計　米國アンソニヤ時計
韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商

仁川本町三丁目

喜多金光堂本店

電話七五〇番

時計卸小賣

京城本町二丁目

喜多金光堂支店

電話千十五番

張店と菊見

弊樓儀かねて增築中の處愈落成致候に付ては今般破天荒の改善を圖り來る十二日より張店となし客室の設備は勿論新たに數名の美妓を取揃へ一般粹客樣の御滿足を與ふべく殊に樓内には黃白の菊數百本陳列し中にも萬菊の如きは天下一品とも稱すべきもの有之候條秋の夜の長き徒然を慰むる資として賑々敷御來遊被下度奉希上候也

京城新町

高島屋

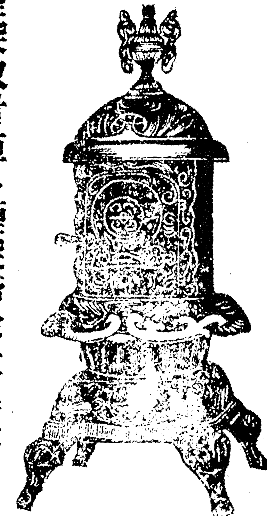
米

東京火災海上運送保險株式會社

明治廿年七月創立●京城代辨店 本町四山口吳服店 電話九番

資本金一千萬圓●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

暖爐各種



廣告

煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

電四七一番　京城本町五丁目角一番戶
馬木勇吉

電三六四番　龍山山下町兵器廠官舍道入口
馬木支店

上等石炭各種

並に無煙炭販賣

京城本町二丁目

林田交換所

（電話六十五番）

營業科目

活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿裝釘、書籍
製本及ビ印刷
諸材料販賣

日韓印刷株式會社

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三二三番
出張所　東京麴町區麴町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

消毒用デシンフォルマリン外一式
病虫害驅除豫防藥一式
工業用藥品一式
農具種子苗木肥料類

京城本町一丁目（長谷川町筋）

三輪商會

電話三八六番

貨物運送取扱　稅關貨物取扱　貨物引換證發行
危險擔保附運送　代品金付貨物運送

內國通運株式會社

京城南大門驛前
京城支店
電話一七九番

仁川驛前
仁川出張所
電話一五一番

草梁驛前
釜山出張所
釜山驛前 電話九一六番
草梁驛前 電話六三七番

龍山驛構內
龍山派出所
電話二〇六番

●祝開業三週年●

江湖御客樣方の御引立に預り日ましに繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の內左記之通り特別大勉强仕候間賑々敷御光來の程伏して奉待上候あらく可祝

會席二膳附
並等壹圓
上等壹圓半
特等貳圓
但御酒は上記代金の內にて召上り次第

尙々十人以上の御宴會は御人數に應じ花代なしにて相應の藝妓をして御座敷を斡旋致させ申候

京城大和町三丁目
電話七三五

梅の家

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す弊場夙に此に留意し好良の食料を給す

京城本町五丁目（電四七番）
販賣元 仁川松尾支店
京城東四軒町（電七五番）
搾取所 松尾牧場

●弊場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

特約販賣自製

漬物
味噌
醬油

製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、◯の精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塘辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

（電話二五一番）

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）

辯護士 岡田榮

京城旭町一丁目六十七番戶

（電話三九八番）

新調及調進 春 [illegible]

綿わたワタ

やすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類

京城明治町一丁目四ッ角

卸問屋

唐川商店

電話六一二番

折箱製造元

京城明治町一丁目五十番戶

箱信事 漢城病院下借へ入ル

鳥山商店

今回當商會都合により閉店仕候に付本日より向ふ五日間商品原價の半額に大割引販賣仕候

店舖貸渡す

希望の方は至急御來談ありたし

京城本町五丁目五十一番戶

十月十一日

梶原兄弟瑞穗商會

◯●◯●◯●

消閑之淸遊

京城明治町一丁目

每日午後開會諸君子陸續御臨を賜へ

京城碁會

（大和湯前〇万隣）

市中之仙境

內外科
產科
小兒科
花柳病

京城旭町一丁目三二六番戶

安東病院

電話七十三番

入院隨意

待合

四

日本郵船株式會社

瀛船仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

●釜山長崎門司神戶行
山東丸　十月二十四日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸　十月十四日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸　月　日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　月　日正午時出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸　十月　日午後出

御注意
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料（一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓貳十錢▲一ヶ月金拾錢）
●廣告料（▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金六十錢）

發行兼編輯人 高木久馬
印刷人 橋久神一郎

發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六一